

重要課題に対するその他の取り組み

Other Activity

2019年度からの中期事業計画 **KAYAKU Next Stage** の策定にあたり、取り組むべき課題を整理し、CSR 重要課題（マテリアリティ）を特定しました。特定したマテリアリティの各項目については、CSR 活動目標に反映させ、成果の創出に向けてマネジメントを行っています。

重要課題 事業を通じたイノベーション

アグロ事業部 新規殺虫剤(ファインセーブ®)で農業生産に貢献

2018年6月に販売を開始した「ファインセーブ®」は、ねぎ、たまねぎ、トマト、いちご、だいこんやキャベツなどで問題視されている害虫のアザミウマ類、タバココナジラミ類、サビダニ類、コナガなどに効果の高い新しい有効成分を有する新規の殺虫剤です。

「ファインセーブ®」は、天敵や有用昆虫への影響が小さい新しいタイプの薬剤なので、これまで農薬使用が制限されていた生育時期にも使用が可能です。この特徴を最大限に活かし、栽培体系、薬剤の使用状況などを現場の指導機関と相談しながら効率的で上手な使い方を提案しています。

今後、本剤が農業生産の現場で貢献できるように活動していきます。



重要課題 職場の労働安全衛生

健康経営優良法人 2019 ホワイト500 の認定取得

日本化薬は、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として評価され、健康経営優良法人 2019 大規模法人部門（ホワイト500）※に認定されました。

従来から、従業員の健康保持・増進のために健康診断受診率100%の維持やストレスチェック、メンタルヘルス研修など多くの取り組みを実施してきました。

このたびの認定は、健康増進のための取り組み課題を抽出し、この課題に対して健康診断結果改善の取り組みや受動喫煙対策、全社員による健康づくりイベントなどの改善策を実施したことが評価されました。具体的には、健康診断結果改善の取り組みでは有所見者全員の産業医面談に加えて有所見率の高い項目について安全衛生委員会で産業医の指導を受け健康改善につなげました。

従業員の健康増進は、企業の繁栄とひいてはステークホルダーの満足度向上に必要不可欠なものと考え、今後も健康経営に積極的に取り組んでいきます。

※健康経営優良法人大規模法人部門（ホワイト500）：経済産業省が2016年に創設した認定制度「健康経営優良法人」のうち、規模の大きい企業や医療法人を対象とした大規模法人部門の認定法人を指す愛称



重要課題 事業を通じたイノベーション

ドローン向け非常用パラシュート安全装置「Para Safe」(商標登録出願済)

物流、測量、点検、災害救助などの分野でドローン(無人航空機)の利活用が世界的に進められています。日本化薬では、エアバッグ用インフレーターやシートベルト用ガス発生装置等の自動車用安全部品で培った火工品技術を応用して、ドローン用パラシュート安全装置を開発しています。ドローンの落下を検知し、火工品を遠隔的に作動させることで、高速でパラシュートを展開し、安全にドローンを降下させる装置です。ドローン機体本体、搭載物、人命を守り、社会におけるドローンの活躍の場をさらに広がられます。サンプルワークを通し、ドローンメーカー様からご意見をいただき、安全装置の信頼性を上げてまいります。製品化は、2021年以降を見込んでいます。



重要課題 コンプライアンス

中国グループ会社への浸透

2018年6月、中国にあるグループ会社6社の総経理と倫理担当者が集まり、第2回倫理担当者会議を開催しました。中国での内部通報制度の構築とコンプライアンスアンケートの実施について話し合った結果、外部の法律事務所に通報・相談窓口を設置し、各グループ会社で内部規程を作成したうえで内部通報制度の運用を開始しました。また、第1回コンプライアンスアンケートを実施し、その結果を各グループ会社及び本社の所管事業部へフィードバックしました。

さらに、当社内部統制推進部とKSC※の法務担当が協力して、現地従業員へのコンプライアンス研修を各グループ会社で開催し、継続してコンプライアンスの浸透を図っています。

※KSC：化薬(上海)管理有限公司 中国にある管理会社



重要課題 水資源の利用の効率化

KSE 雨水を活用する施設

KSE※は、環境保護を推進するための設備投資活動の一貫として、雨水をより効果的に利用するための貯水タンクシステムを導入し、雨水を飲用以外の用途として利用することで、水道水の使用量を減らすだけでなく費用の削減にもなりました。

2017年度は、55m³の貯水タンクを駐車場の下に建設し設置しました。設置にあたっては、チェコ共和国の法規制を遵守するため、建設中には政府による定期検査を受けました。

2018年度は、新築予定の建物の地下に容量75m³と152m³の貯水タンクをそれぞれ2基ずつ設置しました。さらに、2019年は容量198m³の貯水タンク3基を地下に建設中です。これからも日本化薬グループのCSR経営に貢献していきます。

※KSE：チェコにある自動車安全部品の製造会社

